

不活化ポリオワクチンの接種について

現在、定期接種として実施されている生ポリオワクチン接種を見合わせている方が多くいます。本県では、県民の皆さんの不安に応え、一人でも多くの方にポリオワクチンを接種していただけるよう、厚生労働省が不活化ポリオワクチンを導入するまでの間、地方独立行政法人神奈川県立病院機構とともに、独自に不活化ポリオワクチンの接種に取り組みます。

○ 取組の背景

WHOによれば、本年9月に中国西部の新疆ウイグル自治区で野生株のポリオウイルスの感染者10名の報告があり、ワクチン接種の重要性が増しています。

一方で、日本で使われている生ポリオワクチンの接種者は、昨年度に比べて17.5%も大きく減少しています。生ワクチンは、約100万人に1.4人の割合で、ポリオに感染するという報告があります。

厚生労働省は、不活化ポリオワクチンの導入は可能な限り迅速に行うが、早くても2012(平成24)年度の終わり頃の予定としています。

○ 神奈川県の状況

神奈川県でも、今年の4月から6月の生ワクチン接種者は約6万3千人で、昨年同期の約8万人に比べ約1万7千人と、全国平均を上回る21.5%も減少し、無接種者が増えている状態です。

<実施概要(案)>

実施主体：地方独立行政法人神奈川県立病院機構と県の協働事業

実施場所：県保健福祉事務所のうち5箇所

実施期間：準備が整い次第開始

～ 国の不活化ワクチンの導入時点で終了

開催予定数：5箇所で週1回程度

接種料金：5,000～6,000円

その他：予約制で希望者を募集

※ 詳細は、調整が整い次第、別途発表します。

生ポリオワクチン接種者報告数（4～6月）

	全国接種者数		神奈川県接種者数		
	前年比	増減	人数	前年比	増減
平成21年	—	—	77,323人	—	—
平成22年	103.2%	+ 3.2%	79,617人	102.9%	+ 2.9%
平成23年	82.5%	-17.5%	62,524人	78.5%	-21.5%
			(前年より17,093人減少)		

問い合わせ先

神奈川県保健福祉局 保健医療部
健康危機管理課長 金井
電 話 045-210-4790
F A X 045-633-3770

○ ポリオについて

ポリオウイルスが人の口から入り、腸で増えることで感染します。その後、便により排泄され、この便を介して人に感染します。感染しても、多くの場合、明らかな症状はあらわれませんが、まれに腸管に入ったウイルスが脊髄に入り、主に手や足に麻痺があらわれ、その麻痺が一生残ってしまうことがあります。

○ ポリオワクチンの種類

・生ポリオワクチン

ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったもので、日本国内で定期の予防接種で使われています。

・不活化ポリオワクチン

ポリオウイルスを不活化し、病原性を無くしてつくったもので、現在、先進国で多く使われています。